

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内 (一社)香川県作業療法士会事務局

E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

令和7年にむけて

会長 松本 嘉次郎

令和7年(2025年)が始まりました。今年は、穏やかな気候で年明けを迎えることが出来ましたが、インフルエンザを中心に感染症が猛威を振るっており、平穏とは言いきれない年が続いています。

今年は、団塊の世代といわれる方々が、後期高齢者となります。社会保障費の増加や医療、介護の現場においては働き手不足の所謂2025年問題の年になります。この近年、様々な会議や集まりの場では、作業療法士に期待を寄せられる声をたくさんの方から聴くことができます。作業療法士という職業を正しく理解してもらい、定款で掲げている当士会の目的のひとつである「県民の保健・医療・福祉の充実及び向上に寄与することを目的とする。」を行って行く大きな機会となります。そのためには、会員の皆様の職場での活躍、資質向上に向けての取り組みはもちろんの事ですが、少しの会への理解と協力をいただくことが必要不可欠だと思います。

今年の9月に第59回日本作業療法学会が高松にて行われます。COVID19前までは、会場の関係で大都市での開催が主であったのが、対面とオンデマンドの併用をすることで、地方での開催も可能となったようです。また、香川県地域包括ケアシステム学会の第8回学術集会の担当団体として、当士会と香川県言語聴覚士会合同で行います。現在、両士会で準備を行っている所です。

大きなイベントが盛りだくさんな年となります。ぜひ、会員の皆様には、参加をしていただき、「香川県の作業療法士は活発だ。」や「作業療法士さんと連携していきたい。」などの声がたくさん聞かれればありがたいと思っておりますので、ご協力とご理解を宜しくお願いいたします。皆様にとって、令和7年が良い年になるように願っています。



先輩の声

No.58 こころの医療センター 五色台 前田 憲人 (6年目)

私はこころの医療センター五色台で働き始め6年目になります。初めは病棟勤務でしたので入院患者さんと関わる時間が多くありました。4年目には作業療法科へ異動となり、より精神科作業療法について学ぶ機会が多くありました。現在はデイケアコラゾンで所属長という立場で働かせてもらっており地域で生活をしている方への援助を行っています。またアルコール依存症やギャンブル依存症等の依存症患者さんの支援もしています。依存症に対する世間の理解はまだまだ乏しいと感じながら治療にあたっています。

患者さん、利用者さんの疾患や特性は様々であり症状や状態は日々変化するため、『本当にこれで良かったのか』と振り返る毎日です。利用者さんが職場復帰したり地域で自立した生活を送ることができるようになることに達成感ややりがいを感じています。

自身が憧れて就職した精神科病院で様々な部署を経験させてもらい多少の対応力は身につけたつもりですが、周りのスタッフに支えられていると日々実感しています。これから先も色々と迷いながらであっても患者さん、利用者さんに寄り添って援助していけるような作業療法士を目指して努力していきたいと思えます。



No.59 医療法人財団 博仁会 キナシ大林病院 **納田 一**
(19年目)

私が勤務しているキナシ大林病院リハビリテーション科は OT6 名、PT17 名、ST3 名、合計 26 名のスタッフが在籍しています。当院の特色として「みんなの笑顔のために」をリハビリテーション科の理念と掲げ、地域に密着したリハビリテーションを入院から在宅まで通じて提供しています。

2024 年 4 月には手外科診療センターが新たに開設され、橈骨遠位端骨折、ばね指、伸筋腱・屈筋腱断裂など、手や上肢の疾患の術後急性期からの介入、スプリントの作成といった様々な状態に合わせたハンドセラピーを行っています。また、入院生活をより

快適にするために各病棟デイルームに、カレンダーの設置、福祉用具のパフレット、新聞などを置くスペースを OT が中心となって作成しています。患者様が自由に手に取っていただき、スタッフや他患者様との交流や新しい作業が生まれる場になっています。こういった手法で入院生活の援助をしていくことも OT の役割の一つと考えています。

最後に当院では OT 未介入の患者様に対し他職種から相談があった際、医師に相談後『スポット介入』を行っています。スポット介入とは、特定の機能回復を必要とする方々に対して、迅速な回復を支援する事を目的としています。作業療法における意味のある作業への介入は非常に重要です。患者様が自宅に帰った際に必要な日常生活活動や、大切にしている作業を入院中から行っています。ADL 練習やご家族との電話、編み物、新聞を読むなど患者様にとって意味のある作業やその方の生活、人生に沿った作業療法が行えるようにお話を伺い、可能な限り目標を共有しながら介入を行うことが不可欠です。

作業療法は既存の根拠に基づく治療を実施するだけでなく、新たな進展や発展を促進し、患者様の未来の可能性を広げる重要な役割を果たす職業です。皆さんも多様な経験を通じて成長し、学びを深めていくことになると思います。



地域の介護を支える作業療法士の取り組み ～福祉用具研修会の現場から～

専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ 作業療法学科 専任教員 **馬場 広志**

2015年から年に数回の頻度で「地域医療介護総合確保基金事業」として、香川県作業療法士会主催の福祉用具研修会が開催されています。2021年からは、出張研修会として施設に出向いて研修会をする取り組みも行われています。

私も樋本理事のご尽力のもと、研修会の運営、講師に携わらせていただいております。

この研修会は、介護従事者や介護職を目指している学生を対象に、作業療法士が福祉用具の活用方法や生活支援の工夫を提案する機会として設けられています。主なテーマは、「ポジショニング」や「抱えない移乗」「シーティング」「自具や生活用具」などで、介護従事者と作業療法士が連携でき、現場で役立つ知識と技術を習得できるように、実技を主体とした内容となっています。

研修会では、参加者同士でも意見を出し合い情報交換する場面がみられます。特に抱えない移乗では、介助者と被介助者の双方にとって身体への負担を軽減することを体験し、参加者からは「すぐに職場で活用できる具体的な内容だった」「職場に用具があっても使っていなかったが、使える技術を学べた」など、実践につながるという声が聞かれました。

出張研修会では、同じ施設の職員同士で熱心に練習し、実際の対象者の方に対しての対応なども検討できる機会となっています。

この活動は、地域の介護現場における質の向上や、多職種連携に寄与することを期待しています。作業療法士が持つポジショニング - 移乗 - シーティング - 生活行為というつながりを持った、24時間 365日の連続した生活をみる視点を共有することで、より多くの対象者が安心・安楽に生活できる環境づくりに寄与したいと考えて活動しています。

地域社会における作業療法士の役割をさらに広げるため、多くの作業療法士の方に県士会活動に協力いただき、このような研修会にも協力いただきたいと願っています。



No.31 病院紹介

高松平和病院リハビリテーション科

戸田洋子

香川県の特別名勝、栗林公園の東側に位置する当院は、1949年12月1日に創立しました。

当病院には、内科・家庭医療科（循環器科、呼吸器科、消化器科）、在宅医療科、乳腺外来、緩和ケア内科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、病理科等様々な診療科目があります。

また、入院は一般病棟 57 床、地域包括ケア病床 45 床、緩和ケア病棟 21 床を有しています。

リハビリテーション科には、OT8 名、PT17 名（1 名育休中）、ST1 名の計 26 名が所属しており、急性期から終末期、小児から高齢者まで様々な役割を持って日々リハビリテーション業務に励んでおります。

医療生協の病院として、病院内での仕事だけでなく、組合員さんと一緒に地域が元気になるように健康チェックを行ったり体操教室を行ったり、地域のお祭りに参加したりもしています。

実は平和病院は〇年後に移転する予定があります。栗林公園から遠ざかってしまうのは残念ですが、どんな医療構想になるか、リハはどのような役割を担うか、どんなリハ室にしようか、等の話し合いが始まりつつあり、今から楽しみです。



災害対策特設委員会

四国作業療法士会 連絡協議会 総合病院 回生病院 神田 智明

災害が起こった時、我々は医療者として支援する側になるのか、被災者として受援する側になるのか、それは災害が起きた後でないと分かりません。災害を考えた時にどちらの視点も大事になると思います。我々、災害対策特設委員会はその両方の視点から活動をしています。

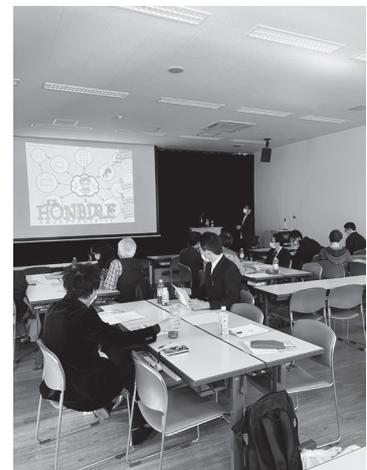
まず、支援の立場ですが、皆様は JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）という言葉をご存じでしょうか。近年、東日本大震災、熊本県での令和2年7月豪雨、石川県での能登半島地震など日本各地で災害が発生しております。時間経過とともに、発災直後の被害だけでなく災害関連死という言葉がニュースなどでよく耳にするようになりました。災害で受けた負傷の悪化や、避難所など慣れない環境での生活が長く続くことで、社会参加の制約が生活動作の制限を起し、身体的・精神的活動が低下すること（生活不活発病）により疾病を患い、死亡することを指します。我々、リハビリテーション専門職種はこの災害関連死の予防に努めることで医療者として災害支援ができます。JRATはこの生活不活発病ないしは災害関連死を最小限にするため発足された団体で、日本作業療法士協会、日本理学療法士協会、日本言語聴覚士協会などリハビリ関連協会を含む13団体が合同で立ち上げた組織です。令和6年度より石川県の能登半島地震をきっかけに香川県内でも香川 JRATが発足し、隊員派遣などの活動を開始いたしました。当会の災害対策特設委員もこの組織の支援を行い、研修会を合同で開催するなどの活動をしております。

受援の立場では、近県との協力作り作りと、県士会員への啓発活動などを行っております。

近年、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されておりますが、香川県も被災地または被災近隣県となることが予想されます。近県、特に四国内での支援活動が重要となってくることが予想されますが、いざ災害が起きて協力といっても困難が予想されます。そこで、相互協力を平時より行っていき、「顔見知り」の関係になるため、隔月で合同会議を行っています。そこで得た災害関連の情報を県士会へ伝達したり、合同での企画に参画いただく事で県士会へ還元していきます。会議には誰でも気軽に参加できます。他の県の人たちと繋がりを持つ良いきっかけにもなっています。

会員自身が被災した際に被災会員へ支援ができる体制を整えるため、平時より訓練を行い状況把握のツールを確立したり、防災キャンプなどの企画を経て県士会員自身が被災地で少しでも減災できるよう支援を行っています。

災害は誰の元にも起こる可能性のあるものです。我々は現在9名で活動していますが、この少人数で出来ることは限られています。ぜひ災害対策特設委員に参加して、減災のための知恵を出し合っより良い活動ができれば嬉しく思います。被災地への支援、近隣への支援、県士会員への支援、どれでも少しでもご興味ある方の参加を心よりお待ちしております。



地域包括ケアシステム推進委員会の紹介

広瀬病院 田村 篤史

香川県作業療法士会における、地域包括ケアシステム推進委員会は、特設委員会として設置されておりますが、PT・OT・ST の合同委員会である、香川県地域包括ケアシステム推進委員会としての活動がメインとなっております。

《主な事業内容》

- ☑介護予防推進リーダー・地域ケア会議推進リーダー研修会開催
- ☑香川県地域リハビリテーション合同研修会開催
- ☑県内市町の地域ケア会議への人材派遣調整
- ☑認知症予防事業への人材派遣調整・実践

《作業療法士会として》

JAOT は、2027 年までの重点目標として、全国約 1700 市町村に担当作業療法士を設置する事を掲げております。香川県に関しましても、地域で活躍できる人材を継続して確保していくと共に、その中核となる人材の発掘にも力を入れてまいります。

本務以外の場所での活動として、
地域支援事業にご興味のある方は
是非、お気軽にご連絡ください。



New!
リレーエッセイ18

中野 直樹

(訪問看護ステーションケアライン
・ティサービスセンター松縄)

徳永 謙一

(三船病院)

佐藤 祥

(株式会社 Faro)

【人にも動物にも優しい場所】



こんにちは。株式会社Faroの佐藤祥と申します。現在、訪問看護ステーションや相談支援事業所、就労継続支援B型事業所の管理運営をしながら、サービス管理責任者や職業指導員、目標工賃達成指導員、そして動物取扱責任者など複数の役割を担いながら日々働いております。私共が運

営している就労継続支援B型事業所ポルトでは、昨年8月に保護猫カフェ「necobokko CAFE」をオープンし、障がいのある方が働く場所としての機能だけではなく、地域のボランティアさんと協力しながら保護猫シェルターとして県内の猫たちの保護や譲渡を行い、そして多世代の一般の方々が訪れる店舗としても愛される存在となっています。数年前から地域社会に対して作業療法士として何が出来るだろうと悩んだ末に行き着いたのが、人にも動物にも優しい場所としての「necobokko CAFE」でした。作業療法士が、何かおもしろい事をやっているぞと少しでも興味を持った方！ぜひ一度「necobokko CAFE」に遊びに来て下さい！美味しい料理とかわいい猫たちが待っています！



今年の日本作業療法学会は 香川で開催されます！

第59回日本作業療法学会が2025年11月7日(金)～11月9日(日)の3日間に香川県高松市で開催されることになりました。

今回の学会のテーマは「作業療法の価値を高めるエビデンスの創出」です。様々な治療や援助の中でエビデンスが重視されるようになってはいますが、まだ日々の臨床では十分とは言えない状況です。学会に参加して新たなエビデンスを創出してみませんか？

会場も香川の新しいシンボル「あなぶきアリーナ香川」でも開催されます。また、香川県作業療法士会もブースを出す予定です。

全国学会に気軽に参加できる機会は少ないです。香川の地から学会を盛り上げていきましょう！

皆様のご参加をお待ちしております。

今後の講演やセミナーの詳細や参加登録情報は、日本作業療法士協会のホームページでご確認いただけます。

第59回日本作業療法学会

期間:2025年11月7日(金)～11月9日(日)

会場:サンポートホール高松 かがわ国際会議場
あなぶきアリーナ香川

テーマ:作業療法の価値を高めるエビデンスの創出

公式ホームページ:<http://ot59.umin.jp/link.html>

第59回 The 59th Japanese Occupational Therapy Congress & Expo in Takamatsu 2025
日本作業療法学会
作業療法の価値を高めるエビデンスの創出
Generating Evidence to Enhance the Value of Occupational Therapy

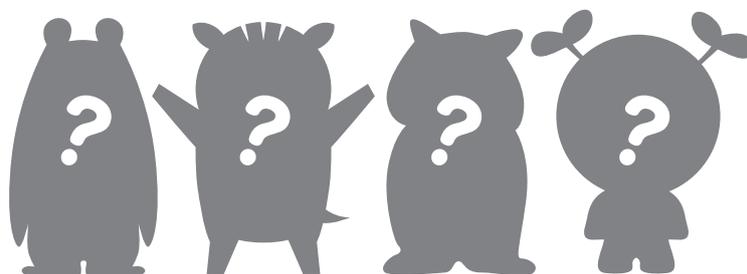
2025年
11月7日(金)～9日(日)

会場 サンポートホール高松
かがわ国際会議場
あなぶきアリーナ香川

会長 能登 真一
新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科

香川県作業療法士会 マスコットキャラクター案大募集!

この度、香川県作業療法士会マスコットキャラクターを誕生させることになりました。そこで皆様からキャラクターのデザインを募集したいと思います。あなたが考えたキャラクターが公式キャラクターになるかも!?



どしどしご応募お待ちしております!

はっきりとわかるものであれば

手書き・ワード・写真等形式は問いません。

**「県士会キャラクター」と題してキャラクター名と共に
下記メールアドレス迄送付**よろしく願いいたします。

応募先：香川県作業療法士会 広報部 メール：

kot_kouhou@yahoo.co.jp

事務局からのお知らせ

○年会費について(令和6年度)

会員年会費：8,000 円

令和 6 年 6 月にコンビニネットでの払込票を会員の皆様へお送りいたしました。令和 6 年 6 月 1 日～ 29 日の使用期間となり、現在未納でお手元にお持ちの方はご使用になれません。今年度分の年会費が未納（複数年度分の方は未納期間分）の方は、お早めにご振込先まで納入して下さいませよう、よろしくお願い致します。

<振込先>

百十四銀行 県庁支店 口座番号：普通 0993345

加入者：一般社団法人 香川県作業療法士会 会長 松本嘉次郎

※ATM からの振込みの場合は、「氏名」⇒「施設名」の順で必ず入力をお願い致します。

※2 年間以上未納の方は、会員資格喪失者扱いとなりますのでご注意ください。

○香川県作業療法士会の入会・退会・休会について

香川県作業療法士会ホームページの「各種届出書類」より用紙がダウンロードできます。ご提出の場合は個人情報にて、事務局まで郵送もしくはお持ち頂きますようお願い致します。

※「日本作業療法士協会」と「香川県作業療法士会」への入会にて正会員扱いとなります。

※休会をご希望される場合は、休会届を事務局へ提出して下さい。また、会員の皆様の現状を把握する為、1 年毎の届け出をお願いしております。該当の方は、年度末を目安として、ご対応よろしくお願い致します。

※香川県作業療法士会の退会をご希望される場合は、該当年度までの会費の納入状況をご確認の上、退会届を事務局へご提出下さい。

○香川県作業療法士会からのお知らせについて

香川県作業療法士会ホームページ (<https://kagawa-ot.or.jp/>) では、「お知らせ」「活動報告」「研修会の案内 (県士会)」「研修会案内 (関連団体)」等、随時更新をして情報発信をしております。また、会員の皆様への情報発信手段として、公式 LINE アカウントを開設しております。発信元より依頼があった場合に、投稿 (研修会情報等) をしておりますので、ご登録がまだの方は是非ご利用下さい。

現在、メールアドレスをご登録いただいた方には、研修会情報等を一齐送信させていただいておりますが、登録アドレスの変更 (エラー等)、通信状態より発信できない等の円滑な情報提供が出来ていないこともあります。今後に関しましては、「ホームページ」「SNS (LINE 等)」での情報提供を主とする仕組みを考えております。その際は、ご協力宜しくお願い致します。

<事務局>

香川県作業療法士会

住所：香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1 四国医療専門学校 3 号館 作業療法学科内

TEL：0877-41-2330 E-mail：kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

香川県作業療法士会 公式アカウント



QRコードでLINEの友だちを追加

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン>[QRコード]をタップして、コードリーダーでスキャンしてください。

お問い合わせは香川県作業療法士会 事務局まで

**(一社)香川県作業療法士会 事務局
四国医療専門学校 作業療法学科内**

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

TEL0877-41-2330

■(一社) 香川県作業療法士会ニュース No.89■

編集長 木村勇介 (滝宮総合病院)

編集委員 福田かぐや (吉峰病院)

塩田未紅・安藤瑞基・大林美紀・田片孝祈 (松井病院)

村上太気 (いわき病院) 宇佐川雄太 (滝宮総合病院)